

◎ 真心ある政治「こころのよりどころ通信」

大野市議会議員 林よりかず活動報告



林 順和 Hayashi Yorikazu 昭和52年(1977)生まれ 46歳
中央大学卒、大野市議会議員 2期目

大野市議会議員の林順和です。政治は常に国民、市民のものでなければなりません。私は日ごろから現場を大切に、話を聞いて、誇れるまち・大野「実現のため、市民・事業者と行政との橋渡しを心掛けています。」

昨年一年間の大野市議会副議長
の経験を活かして、これまで以上に信頼ある行政を構築して「協働」のまちづくりを進めるため、市政運営の方針やあるべき姿を市民・事業者に明確に示して声を聞き(傾聴)、スピード感を持って実行に移す(決断)ことを求めています。引き続きのご指導、ご支援をよろしく願っています。

大型工事の進捗よく、3月議会で議論した内容

◎屋内型こどもの遊び場《予算額：3億808万円》

大野商工会議所隣接のまちなか交流センターを改修して設置する方針に対し、利用者目線の早急な対応を求めました。(令和7年1月開館予定)

- 経済効果は：子育て世代を新たなターゲットに市内飲食店を認定し誘導
- 駐車場は：有料化実証と関係団体による協議を市の責任において実施
- まちなか遠足の受け入れは：建物の展示等をリニューアルした本願清水イトヨの里を起点としたルート・受け入れについて、ぜひやっていく

◎小中学校の改修工事《予算額：16億1171万6千円》

工事中の開成中、陽明中は工事費の増額に伴う体育館改修を延期する方針に対し、今後の対応を求めました。

- いつまで延期するの：体育館棟工事は時期を見て予算化を目指す
- 工事費の積算は：普通教室棟の老朽化が原因とされるコンクリート等の劣化が多数確認された。中学校2校の工事費増額は1億円程度



私の原点・地域活動に欠かせない「熱意」を大切に

◆こどもまんなか社会(※)

大野市低学年学童野球チーム「オール大野ジュニア」と大野市軟式野球連盟に関わる中で、子どもたちの「視点」「目線」で捉えること、選手はもちろん、指導者や保護者を含めた現場の声に耳を傾ける「傾聴」が大切だと感じています。

(※)こども家庭庁が目指すすべてのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会のこと。大野市も令和5年8月「応援サポーター」を宣言しています。

♿ 私のまちづくり指針

◆障害者が住みやすいまち

大野市身体障害者肢体協会と大野市身体障害者連合会に関わらせていただいています。障害のある方々は、できる限り他人に迷惑をかけないよう行動しており、ちょっとした手助けがあれば自立できます。

手話を覚えたり、ボランティア活動に参加したりするなど、「寄り添う姿勢」が住みやすいまちを創ることに繋がります。

◆官民協働の地域づくり

第一分団体育協会や防災士として活動する中で、自分が住む地域に誇りを持つためには、まちづくりに欠かせない「熱意」を連鎖させて、「行動」につなげることが大切です。行政にとってもメリットがあることから、職員の意識改革と「協働」の仕組み構築を求めています。

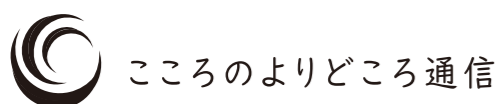
編集後記

令和6年3月第438回大野市議会定例会の冒頭、大野市議会副議長を辞職しました。翌日の報道記事を見て、大変多くの方からお問い合わせをいただきました。

副議長は議員による投票で決まります。また、大野市議会の常任委員会の任期は1年となっており、毎年3月議会において所属委員会などの議会人事が行われます。その一環として副議長は辞職しましたが、市議会議員であることに変わりはありません。

大野市は人口減少と少子化が加速しており、地域間競争も激しさを増しています。「大野市をどうしたいのか」。市役所にも自分にも問いかけてながら、久しぶりの一般質問に立ちました。ぜひ、動画(下記のQRコード)もご覧ください。

発行元 林よりかず後援会事務所 【電話・FAX】0779-65-0276 大野市春日二丁目5-13



大野市議会・本会議の様子(動画)や議事録は大野市ホームページ「大野市議会」のページで確認することができます。右記のQRコードを読み取ると、簡単にアクセスすることができます。



<https://hayashi-yorikazu.jp/>

「こころのよりどころ通信」バックナンバーや最新の市政に関する情報は、右記のQRコードを読み取ると、簡単にアクセスすることができます。



市民の声を市政へ！令和6年3月議会一般質問

市長が考えるキャッシュポイントと行政経営方針

○市長が考える市内のキャッシュポイントは。
 (答弁) まちなか、六呂師高原周辺、和泉、道の駅「越前おおの荒島の郷」の4つのエリアは事業者が収益を得る場所と考える。
 ○屋内型子どもの遊び場整備による新たなターゲット層の子育て世代が、中心市街地でお金を落とす想定は。
 (答弁) 子連れに優しい飲食店を認定して、昼食を取っていただくことで、まちなかでの滞在時間を長くしていきたい。

林の視点

市が掲げる行政経営の視点からも市内事業者の売上増加につながる仕掛けを打っていかねば「稼ぐ力」とはならず、税収増加も見込めません。キャッシュポイントにおける行政の投資強化を求めました。
 屋内型子どもの遊び場の整備に連動して民間投資を促すため、中心市街地のあるべき姿を明確に示すよう求めました。

大野市の現状評価に必要な女性の視点、市民の目線

○市の施策に関わる女性も多い。市政に携わる方の声は市長まで届いていないのか。
 (答弁) 女性活躍の場づくりは、少子化対策、子育て世代の流出抑制対策として極めて重要。各施策の推進にあたっては、女性や若者をはじめ、多様な層の意見を聞きながら事業を検討し実施している。
 ○昨年8月、市内の女性経営者との意見交換会で、行政のトップとして得たことは。
 (答弁) 男らしく、女らしくではなく、やはり事業所のリーダーとして振る舞われている。
 ○昨年4月に着任された副市長から見て、今の行政(市役所)は市民、市内事業者のため動いているか。
 (答弁) 市民の声を聞くために現場にこころ、市民の中に入っていくと話しており、今回の当初予算にも反映されている。



林の視点

令和6年度予算「サステナブルシティ推進事業」721万3千円の中に、市民への意識調査を行う委託料195万1千円が計上されていたことから、業者に外注してアンケートを取る前に市の施策に関わる方々や市職員の声を聞いた上で、施策の優先順位を求めるなど設問を絞るよう求めました。
 特に現在の行政運営や各種取り組みが女性の視点、市民目線で評価されているのか、行政独りよがりの施策は行わないとの方針を示している以上、「大野市をどうしたいのか」を明確にするよう求めました。



本年7月1日で大野市は「70歳」。これからの大野市をどう創っていくのか、市民との対話が重要です。

「100年先も誇れる大野市」にどうつなげる

～令和6年度一般会計予算213億8000万円の効果を常にチェック～

市民の健康・福祉充実、安全安心確保へ

【こども支援課】病児デイケアの設置運営

「とちのき」(66-2502)の利用案内を強化する一方で、契約方法を利用人数に応じた支払い方法に見直した。

【健康長寿課】健康ウオーク継続

参加者数を2930人に拡充する一方でスマートフォンアプリでの参加や景品の見直しにより経費を節減した。(予算額：4954万8千円)

【防災防犯課】防災情報の伝達

老朽化した防災行政無線の更新とともにスマートフォンを持たない高齢者世帯へ緊急情報を伝達するため、戸別受信機の貸与をスタート。

【防災防犯課】防犯灯のLED化

自治会等が所有する防犯灯のLEDへの交換への補助は令和6年度で終了。電気料金の一部補助は継続。

市内事業者の事業継続・拡大に

【交通住宅まちづくり課】タクシーの運行拡大

乗合タクシーは会員制導入、タクシー事業者による車両の入れ替え、従業員の二種免許取得を支援。タクシー車両の入れ替えは、午後11時までの運行を年間300日以上行う場合などに市独自の補助制度を創設。
 ※障害者や高齢者で免許を持たない方に利用促進チケット配布(条件あり)

【産業政策課】新ビジネスを創出

市内中小企業者の事業振興を図る目的で設置された商業振興基金を活用してビジネスプランコンテスト開催。

【観光交流課】六呂師高原を民間活力で活性化

民間活力を導入した開発に着手するにあたり総務省の地域力創造アドバイザーを招へい。サンスポーツランドの活用策やトロン温浴施設うらら館の管理方法の見直しも実施。

直営施設のあり方検討を

【地域文化課】COCONOアートプレイスの観覧者数を増やす

令和8年度までのアクティブプランで結果を出すよう目標を掲げて達成を目指す。

【環境・水循環課】越前おおの水のがっこうは運営経費削減を

施設の周辺環境が変化中、研究に特化した施設とするなど運営経費の削減を念頭に検討する。

【産業政策課】職業訓練センターに越前おおの農林楽舎、農業共済(NOSAI)が入居

市民の能力開発を目的とした職業訓練センターですが、市長が一時使用許可する形で他団体が入居。他の施設でも一時使用が乱立しており、本年度の使用料見直し検討委員会(総務課)の中で、算定方法を整理・統一する。

あれ、どうなった？ 文化会館のあり方は



昨年5月発行のよりどころ通信第10号でお知らせしたとおり、現在の文化会館は耐震性が確保できておらず、市は「令和8年6月までに休館を検討する」方針を示しています。8月によりやく文化会館あり方検討委員会を設置した上で、法令との整合性や概算事業費、ランニングコストの試算に係る調査を行い、その結果を基に、整備案4案について検討するとしています。
 議会では、3月議会で詳細資料が提示されなかったことから閉会中の審査を行い、整備の必要性を含めてスピード感を持って議論していきます。

【整備案4案】

- 現敷地での新築
- 駅東公園での新築
- 結とびあ増築
- 図書館の増築

【現在の文化会館概要】

- ・所在地：大野市有明町
- ・建設年：昭和40年(昭和41年6月開館)
- ・敷地：5,981㎡(市有地)
- ・構造：RC造(鉄筋コンクリート)一部SRC造3階建
- ・延べ床面積：3,161㎡
- ・大ホール客席数：633席
- ・駐車台数：97台